

# 令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【善前小学校】

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	
思考・判断・表現	

次年度に向けて  
(3月)

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	<p>&lt;学習上の課題&gt; 国語の「主語・述語の関係を理解する」ということに大きな課題がある。</p> <p>&lt;指導上の課題&gt; 「誰が何をしている」「誰がどんだ」ということを意識して文を捉えたり、読み取ったりしていく時間の設定が不十分である。</p>	⇒ 朝学習となる週一度の「基礎・基本」の時間で、「ドリルパーク」等を活用し、主語・述語の関係における理解を全学年で重点的かつ継続的に取り組む【月に2回程度の実施】。そして、本年度の市学力・学習状況調査等で、本校平均正答率と市(全国)平均正答率との差を、昨年度よりも縮められるようにする。
思考・判断・表現	<p>&lt;学習上の課題&gt; 「話の内容を捉えたり、場面と図・式を関連付けたりする」ということに課題があり、さらには個人差が大きくなる。</p> <p>&lt;指導上の課題&gt; グラフや表などの資料を活用したり、実際に書いて取りする時間の設定が不十分である。</p>	⇒ 資料をもとに自分の考えをまとめたり、自身の考えを図や式、言葉等で表現したりする活動を充実させていく。さらに、協働的な学びを随時行い、自分の考えをペアやグループ、また全体で表現することができるようにする【R6年度さいたま市学習状況調査「学級の友達との間で話し合う活動を通して自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の質問項目において、肯定的な回答の割合が85%以上】。

<小6・中3>(4月~5月)

⑤	評価(※)	調査結果 授業改善策の達成状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		

結果提供(2月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	国語では、漢字を文の中で正しく使うということに課題が残った。そして、無解答率が全ての問題の中で一番高かった。算数では、数量の関係を表したり、速さなどの単位量当たりの大きさの意味や表し方についての理解に課題がある児童がみられた。習得した知識・技能の活用や、深い理解を伴う知識の習得ができていないことが考えられる。	
思考・判断・表現	国語の「読むこと」領域において課題がみられた。物語を読んで、心に残ったところとその理由をまとめて書くという問題で、無解答率が高かった。また、目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して、自分の考えを伝えるための書き表し方を工夫するということにも課題がみられた。算数でも、道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて説明がみられた。要約、説明、論述等、自分の考えをまとめることができるような活動を多く取り入れていく必要がある。	

- ①結果分析(管理職・学年主任等)
- ②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し	
	評価(※)	授業改善策の達成状況	授業改善策【評価方法】
知識・技能	B	「ドリルパーク」等を活用し、朝学習となる週一度の「基礎・基本」の時間で、主語・述語の関係における理解を全学年で重点的かつ継続的に取り組むことができた。	全国学力・学習状況調査の結果から、国語で課題のみられた「漢字」、算数で課題のみられた「速さや図形」における理解にも重点を置き、「ドリルパーク」等のICTを活用し、個別最適な問題練習が繰り返されるようにする。【月に2回程度の実施】
思考・判断・表現	B	友達と考えを共有したり比較したりしながら、自分の考えをまとめたり、自身の考えを図や式、言葉等で表現したりする活動を大切にしながら日々の授業を実践していくことができた。	変更なし

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)